

教育プログラム・コースの概要

大学名等	琉球大学大学院 博士前期課程 保健学専攻						
教育プログラム・コース名	ライフステージに応じたがん対策を推進する人材の養成・緩和ケアエキスパートナース養成コース(インテンシブ)						
対象者	3年以上の看護実務経験(がん看護経験2年以上)を有する看護師						
修業年限(期間)	6か月						
養成すべき人材像	離島地域含む沖縄県内の緩和ケア推進を目指して多職種と協働できる人材、また将来的に、緩和ケア認定看護師やがん看護専門看護師となる人材の育成。						
修了要件・履修方法	緩和ケアに特化した集中講義・特別講義の受講(8割以上の出席)、及びがん診療連携拠点病院における緩和ケアチーム活動への同行や事例検討会への参加、緩和ケア病棟実習、また在宅医療現場における訪問看護同行や多職種カンファレンス等への参加等の実習を履修すること。修了生には、緩和ケアエキスパートナースの称号を付与する。						
履修科目等	<p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアに特化した集中講義(10コマ)、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、訪問看護認定看護師等スペシャリストによる特別講義の受講 全国がんプロe-learningクラウドを活用した講義の受講 <p><実習内容> がん診療連携拠点病院や地域がん診療連携拠点病院、在宅医療現場における同行実習、多職種カンファレンス参加</p>						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	<ul style="list-style-type: none"> 多職種(医師、薬剤師、放射線技師、ケースワーカーなど)連携教育により、離島含む沖縄県内のがん患者・家族への緩和ケアに特化した実践教育を行う。 とくに宮古・八重山等離島地域で勤務する看護師に対しては、出前集中講義を通して、緩和ケアに特化した教育支援を行う。また、実習は本島内におけるがん診療連携拠点病院の緩和ケアチーム活動や事例検討、緩和ケア病棟や在宅医療における緩和ケア実践活動への同行実習を提供する。 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> 本学の教員のみならず、大学附属病院(がん診療連携拠点病院)や地域がん診療連携拠点病院の医師や専門看護師、また在宅緩和ケアに従事する医師、看護師(訪問看護認定看護師、緩和ケア認定看護師等)を活用した多職種による講義、実習を提供する。 						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<ul style="list-style-type: none"> コース修了生に対しては、所属する施設における多職種チームのコーディネーターとしての中心的役割が担えるようテレビ会議システムを活用した後方支援を行う。 その他、コース修了生は、地域住民を対象とした緩和ケアに関する市民公開講座等を企画・実施し、地域における緩和ケアの普及啓発に貢献できるよう支援する。 						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	5	5	5	5	5	25
							0
							0
	計	5	5	5	5	5	25